

## 2.1 図書館業務の多様化に対応した業務の在り方

富山大学附属図書館事務部長

笹川郁夫

はじめに

インターネット社会が世界規模で進行しつつある急激な情報化は、我が国にもIT（情報通信技術）産業革命を引き起こすほどの影響をおよぼしており、もはや「情報化社会」ではなく「情報社会」として捉える段階にきている。

そして、今扉が開いた新しい世紀は、20世紀に得られた図書館を取り巻く学術情報アクセスに関する様々な知識を、より大きなくくりで整理する「知の統合」の世紀と位置付けるならば、この「知の統合の世紀」で、大学図書館は、これまでの歴史・文化を継承するのみにあらず、グローバル化時代における高度で快適な教育・研究・学習環境の支援を進めるために、高度な情報基盤機能の充実に努めなければならないと考える。

### ・IT（情報通信技術）戦略の動向

e - J a p a n 重点計画

IT市場の動き

- ・ICカード化
  - ・マイクロバーコード
  - ・次世代携帯情報端末
- 関連省庁の動向

### ・大学図書館を取り巻く新たな情報環境

#### (1) NACISIS - CAT

- ・中国語DBの構築
- ・朝鮮・韓国語DBの構築

#### (2) NACISIS - ILL

~ Global ILL Framework を目指して ~

- ・米国OCLC及びRLGとのシステム間リンク
- ・国立大学図書館国際アクセスプロジェクトの動き

#### (3) オンラインジャーナル編集・出版システム

- ・学内紀要及び研究報告書などのオンライン化とコスト削減

#### (4) ELJ（オンラインジャーナル）

- ・学内ニーズとサービス方策

( 5 ) O P A C と各種 D B とのリンク

- ・ シラバス D B
- ・ ブックコンテンツ D B e t c ...

・ I T 環境下における新たな図書館業務体制

( 1 ) 組織体制と事業体制

旧体制      新体制

( コンセプト )

- スタッフと上司が、立場に関係なく、築いて行く体制
- 若い人から直接上司に伝わる仕組み
- 自分には関係の無いという事がない体制
- 係 ( 掛 ) の垣根を越えた業務体制 ( プロジェクト体制 )
- 徹底した C o s t 分析の必要性
- 民間経営学の導入
- アイデアの創出 ( 利用する人のための発想 )

- ・ インフォーマルなネットワーク作り      オフサイドミーティング
- ・ 環境が変わってきた中で、自分がどれだけの事が出来るか！考える事が必要

( 2 ) 事業計画

- ・ 目標と課題の設定 = C o m m i t m e n t ( 目標が明確 )

( 3 ) 通常業務のシステム化による省力化の向上

～ 選書受入～ 貸出、参考業務まで～

- ・ 選書 / 発注から目録業務までの自動サイクル化 = システム化
- ・ サービスカウンター業務の外注化
- ・ レファレンス D B の活用

・ 図書館業務の専門性と学内外情報システムとの連携

- ・ インフォメーションバリアフリー化